

# 令和元年度 事業報告

# 令和元年度事業報告

## ◎ 事業取組概況

## ◎ 事業実施状況

### I 公益目的事業

#### 1 海外からの旅行者誘致に関する事業

- (1) 観光マーケティング事業
- (2) アイコン等を活用したプロモーション
- (3) 東京 2020 大会後を見据えた観光 PR
- (4) ビッグイベントを活用した観光 PR
- (5) 欧米豪を中心とした富裕層向けプロモーション
- (6) 東京観光レップの運営
- (7) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業
- (8) 観光プロモーション等の新たな展開
- (9) 東京から日本の魅力新発見
- (10) 地方連携参画型広域プロモーション
- (11) 世界自然遺産を活用した観光振興
- (12) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興
- (13) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業
- (14) 海外青少年の教育旅行受入促進事業
- (15) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大

#### 2 コンベンション誘致に関する事業

- (1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営
- (2) 国際会議誘致・開催支援事業
- (3) 国内会議等の国際化支援
- (4) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業
- (5) 展示会・イベント誘致・開催支援事業
- (6) ビジネスイベント情報発信
- (7) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築
- (8) MICE 施設の受入環境整備事業
- (9) ユニークベニュー利用促進事業
- (10) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援
- (11) ユニークベニューワンストップ窓口の設置
- (12) ユニークベニューの魅力発信
- (13) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業
- (14) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進
- (15) MICE 専門人材育成事業
- (16) MICE マーケティング戦略の構築

#### 3 地域の観光振興に関する事業

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興
- (2) 魅力を高める観光資源の開発
- (3) 観光まちづくりの支援事業の実施
- (4) 東京フィルムコミッション「東京ロケーションボックス」の運営
- (5) 東京シティガイド検定の実施

- (6) 被災地応援ツアーの実施
- (7) 東京都ふっこう割
- (8) ショッピング環境整備・推進事業
- (9) 受入環境インフラの整備

#### **4 観光情報の発信に関する事業**

- (1) 東京ブランドの発信・推進事業
- (2) ウェブサイトによる情報発信
- (3) SNS による情報発信
- (4) ウェルカムカードの作成
- (5) ムスリム及びベジタリアン観光客向けパンフレットの作成
- (6) 東京観光情報センター等の管理運営
- (7) 広域観光案内拠点等の整備及び運営
- (8) 観光ボランティアの管理運営
- (9) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営
- (10) 東京マラソン祭りフォトコンテストの実施
- (11) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営
- (12) 東京観光デジタルパンフレットギャラリーの管理運営
- (13) 映像素材集の管理運営
- (14) TCVB 活動の広報に関する事業

#### **5 会報発行事業**

- (1) 会報等の発行

## **II 収益事業**

### **1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業**

### **2 グッズ等の販売事業**

### **3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業**

- (1) 公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」
- (2) 過去問題

## **III その他事業**

### **1 TCVB ミーティングの開催**

### **2 TCVB ビジネス交流会の開催**

### **3 賛助会員情報交換会の開催**

### **4 企画調査事業**

### **5 共催・協賛**

### **6 後援**

### **7 委員会への参加**

## ◎ 事業取組概況

令和元年秋のラグビーワールドカップ™2019 の開催に向けた観光振興気運の盛り上がりや財団事業展開の好機と捉え、賛助会員を中心とした観光関連業界のニーズを十分に把握し、緊密な連携を取って事業を展開した。

事業の推進においては、来日する訪日外国人観光客に向けた情報発信・PR、障害者や高齢者の観光客もより楽しめる環境整備・サービスの拡充等を実施するとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据え、着実に実施した。

一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延とそれに伴う東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会延期の発表等により、1 月末以降、観光を取り巻く状況は一転して次第に厳しいものとなった。

## ◎ 事業実施状況

### I 公益目的事業

#### 1 海外からの旅行者誘致に関する事業

##### (1) 観光マーケティング事業 <東京都受託事業>

訪都外国人旅行者誘致の効果について、23 市場において成果指標（Key Performance Indicator、KPI）を活用して、今後の効果的なプロモーションに向けて、調査・分析を行った。あわせて、平成 30 年度観光プロモーションを実施した成長開拓市場（UAE）において、その効果検証を行った。

##### (2) アイコン等を活用したプロモーション <東京都受託事業>

企業との企画商品の開発支援、新規映像の制作、PR グッズ制作他、アイコンを国内外で用いて世界の旅行者に東京の魅力効果的に訴求し、訪都旅行者の増大を図った。

##### (3) 東京 2020 大会後を見据えた観光 PR <東京都受託事業>

東京 2020 大会を目前に控え、大会後もさらに訪都旅行者数を拡大していくため、中長期的な視点から観光目的地としての東京の認知度向上を目指し、オンライン広告の掲出やテレビ CM の放映実施、観光レップを活用したプロモーション、世界有数の観光都市との相互 PR を行った。加えてフランスにてジャパンエキスポを活用した観光 PR を実施した。

##### (ア) オンライン広告

Google、Youtube 等を活用したオンライン広告の実施、New York Times、National Geographic と連携した特設サイトを構築し、東京ブランドの PR を実施した。

##### (イ) テレビ CM の放映等

CNN、EURONEWS、PTV 及び CTV といったテレビ局のネットワーク等を利用し、世界において東京ブランドのテレビ CM を放映した。

##### (ウ) 東京観光レップを活用したプロモーション展開

北米 4 都市（ロサンゼルス・サンフランシスコ・ニューヨーク・トロント）、欧州 5 都市（ロンドン・ミュンヘン・ミラノ・マドリード・パリ）、豪州 1 都市（シドニー）、アジア 4 都市（北京・ソウル・台湾・マレーシア（シンガポール・タイ含む））の計 14 都市に設置した東京観光レップを活用して、現地の一般市民に対して東京観光の魅力を訴求した。

##### (エ) ジャパンエキスポを活用した観光プロモーション展開

フランスで開催された日本の魅力を発信する当イベントに出展し、海外メディアや一般市民等に東京の魅力の PR を実施した。

(4) ビッグイベントを活用した観光PR <東京都受託事業>

ラグビーワールドカップ 2019™等の国内外イベントを活用し、都内外において交通広告や屋外広告の掲出等を展開し「旅行地としての東京」のPRを実施した。

(5) 欧米豪を中心とした富裕層向けプロモーション <東京都受託事業>

より多くの観光消費が期待できる富裕層を対象に、ウェブサイトやパンフレット等を制作し、プロモーションを実施した。富裕層に特化した旅行会社及びコンサルタント等が加盟する国際組織を活用して、富裕層市場において東京の存在感を高めるとともに、欧米豪を中心とした旅行博・商談会等への出展、富裕層マーケティング、東京観光レップを活用したプロモーション活動を行い、訪都旅行者数及び観光消費額の増加を図った。

また、富裕層の取扱いに特化した旅行会社と都内事業者との富裕層向け商談会の開催を支援した。

(6) 東京観光レップの運営 <東京都受託事業>

全14都市に設置した東京観光レップを通じて、メディア及び現地旅行事業者に対するセールス活動や情報提供等を行った。また、全レップを東京に一堂に集め、東京の観光事業者向けに、海外市場セミナー及び市場別相談会を1回開催した。(令和元年5月23日)

(7) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業 <東京都負担金事業>

(ア) 旅行博等への出展等

民間事業者等と連携して、アジアでは中国、マレーシア、台湾、タイ、インド、フィリピンに、欧米豪では、イギリス、フランス、スペイン、イタリア、アメリカ、カナダ、オーストラリアの国際旅行博覧会等に出展し、東京観光情報の提供及びPRを行った。また一部の地域では、旅行博等の実施時期に合わせて観光セミナーも実施した。

① アジア

- ・中国 CITIE2019 (令和元年8月30日-9月1日)
- ・マレーシア HIS Cool Japan Festival 2019 (令和元年10月4日-10月6日)
- ・台湾 2019ITF (令和元年11月8日-11日)
- ・タイ TITF#26 (令和2年1月16日-19日)
- ・インド OTM (令和2年2月3日-5日)
- ・フィリピン TTE2020 (令和2年2月7日-9日)

② 欧米豪

- ・イギリス WTM2019 (令和元年11月4日-6日)
- ・フランス SITV Colmar 2019 (令和元年11月9日-11日)
- ・スペイン FITUR (令和2年1月22日-26日)
- ・イタリア BIT Milano (令和2年2月9日-11日)
- ・アメリカ Chicago Travel & Adventure Show (令和2年2月8日-9日)
- LATAS (令和2年2月15日-16日)
- Travel & Adventure Show, Denver (令和2年2月22日-23日)
- ・カナダ SITV Montreal 2019 (令和元年10月25日-27日)
- The Outdoor Adventure & Travel Show 2020 (令和2年2月29日-3月1日)
- ・オーストラリア WORLD TRAVEL EXPO SYDNEY 2020 (令和2年2月1日-2日)
- WORLD TRAVEL EXPO MELBOURNE 2020 (令和2年2月8日-9日)
- WORLD TRAVEL EXPO BRISBANE 2020 (令和2年2月15日-16日)

(イ) 民間企業とのジョイントプロモーション

アジア及び欧米豪地域において、現地一般市民等に対し東京の魅力をPRするため、民間事業者との共同によるジョイントプロモーションを実施した。

① 中国市場

- ・連携企業：株式会社朝日新聞
- ・内 容：東京の伝統工芸を主テーマに、中国の KOL（Key Opinion Leader）による動画撮影と SNS 発信、並びに朝日新聞社の中国向けウェブサイト「潮日本」において PR 記事配信と SNS 発信を実施した。

② アメリカ市場

- ・連携企業：株式会社朝日新聞
- ・内 容：アメリカ東海岸最大級のポップカルチャーイベント「ニューヨーク・コミコン」に出展し、朝日新聞社と東京観光財団による報道写真展「The Creators of Tokyo Culture」を開催。

(ウ) パンフレットの制作

旅行者誘致の強化を図るため、旅行者や旅行会社が求める情報を掲載した東京ガイドパンフレット及び地図を制作した。

- ・ガイドパンフレット（英語、中国語（簡体字、繁体字）、タイ語）
- ・地図（英語）

(エ) 東京ニュース（Tokyo Now）の配信

欧米豪地域のメディアや旅行事業者を主な対象として、東京の最新ニュース等を定期的に配信した。（年間 12 回、各月）

(オ) 東京観光レップ主催、旅行事業者向けセミナーの実施

アジア及び欧米豪地域のレップを設置している各国において、旅行事業者等向けに東京の魅力や最新情報を伝えるセミナーを開催した。

- ・セミナー実施件数： 21 件

(カ) 海外メディア招聘

海外から東京に取材に来る新聞、雑誌、テレビ、ウェブ等のメディアに対して、情報提供や宿泊等のサポートを行い、東京の魅力的な記事や映像の制作を働きかけた。

- ・メディア招聘件数： 63 件（アメリカ、フランス、スペイン等）

(キ) 海外旅行事業者招聘

訪都旅行商品の造成や販売の促進を図るため、レップ設置国の旅行事業者を招聘・サポートし、東京の魅力を PR した。

- ・旅行事業者招聘件数： 5 件

(ク) 一般市民向けプロモーションの実施

新規事業として香港、インドネシアの一般市民に対して、東京の魅力を訴求するプロモーションを実施した。

① 香港

GOTOKYO 上に「香港観光客向け東京の穴場スポット 10 選」を紹介する特設ページを設置。これに連動して、GOTOKYO Facebook(中国語（繁体字）) 上でキャンペーンを実施した。

② インドネシア

インドネシアのインフルエンサー 3 名を招聘し、彼らの SNS（インスタグラム）や Youtube で東京の観光スポット等を発信。合わせて、ジャカルタ市内において、招聘したインフルエンサーが参加し、東京の魅力を語るトークイベントを実施した。

(8) 観光プロモーション等の新たな展開 <東京都受託事業>

(ア) 既存市場における観光プロモーションの強化

既にプロモーションを実施しているロサンゼルスにおいて、ミッション型のプロモーションを実施。旅行事業者・メディアなどを対象に、商談会や観光セミナーを実施した。

- ・都内事業者参加社数： 18 社
- ・メディア集客： 38 社
- ・旅行会社集客： 32 社

(イ) ロシア、UAE 及びオランダにおけるプロモーション

訪都旅行者数の更なる増加が期待できるロシア、UAE 及び新規でオランダにおいて、現地旅行博に出展するとともに、観光セミナーを実施した。また、訪都旅行商品造成に意欲的な現地旅行事業者を招聘し、東京の観光の魅力を体験してもらうとともに、都内事業者等との商談会を開催した。

- ① ロシア Luxury Travel Mart Moscow Autumn 2019 出展 (令和元年 10 月 1 日)
- ② UAE Arabian Travel Market 2019 Dubai 出展 (平成 31 年 4 月 28 日～令和元年 5 月 1 日)  
東京観光セミナー開催 (平成 31 年 4 月 29 日 (ドバイ))
- ③ オランダ Vakantiebeurs 2020 出展 (令和 2 年 1 月 15 日～1 月 19 日)  
東京観光セミナー開催 (令和 2 年 1 月 15 日 (ユトレヒト))
- ④ 現地旅行事業者招聘： 15 社 15 名 (オランダ 5 社、ロシア 5 社、UAE 5 社)  
(令和元年 11 月 24 日～11 月 29 日)

(9) 東京から日本の魅力新発見 <東京都負担金事業>

東北 6 県・仙台市、中国・四国地域 9 県、九州地域 7 県、北陸地域 4 県及び航空・鉄道事業者と連携し、各地域の強みを生かした東京を起点とする観光ルートの設定、共同招聘旅行及びメディアを活用した情報発信を行い、多様な訪日旅行の新たな魅力を海外に向けて広く発信した。

(ア) 観光スポット等の選定及び観光ルートの設定

都内から各地を繋ぐ、外国人旅行者が公共交通機関を利用して旅行できる魅力的なルートスポットを選定し、観光ルートを設定した。

(イ) 観光ルートを用いた共同招聘旅行の実施

ターゲット対象国を各自治体の意向を基に決定し、対象国の外国人に発信力と影響力のある海外在住外国人及び在京外国人を選定し、招聘旅行を実施した。

(ウ) 多様なメディアを活用した観光スポット、観光ルート及び交通利便性等の情報発信

- ・被招聘者による情報発信
- ・記事広告、オンライン広告等の実施

(エ) 東京と北陸各地の魅力を訴求するための 360°動画を制作して YouTube 上に公開

- ・制作本数： 10 本
- ・オンライン広告の実施

(10) 地方連携参画型広域プロモーション <東京都受託事業>

増加する個人旅行者の多様なニーズに対応し、東京と他自治体等との連携による観光立国実現に寄与するため、東京と他自治体双方への観光客誘致と観光振興を推進する共同プロモーションを実施した。また、ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 大会を契機として、関東域内の開催都市等と協力して、国外からの来日促進のための共同プロモーション事業等を実施した。

- ・連携自治体： 20 道府県 (石川県、宮城県、沖縄県等) ほか

(11) 世界自然遺産を活用した観光振興 <東京都負担金事業>

国内の世界自然遺産登録地を有する地方公共団体 (北海道、青森県、秋田県及び鹿児島県) と連携し、共同ウェブサイトの開設・運営、東アジア有力旅行サイト内特設サイトの設置、オンライン広告の実施及び OTA (Online Travel Agent) との連携により、世界自然遺産の知名度を生かした PR を行った。

また、世界自然遺産登録地を持つ地方自治体が連携し、東京と日本各地への旅行者誘致促進を目的とする、現地旅行会社等を対象とした商談会を東京及び大阪を含む国内3か所において実施した。

- ・東京会場：令和元年9月19日 参加人数36名 セラー10事業者 商談件数55件
- ・大阪会場：令和元年10月24日 参加人数30名 セラー12事業者 商談件数35件
- ・名古屋会場：令和元年11月26日 参加人数13名 セラー11事業者 商談件数26件
- ・ツアー造成（予定）本数36本

(12) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興 <東京都負担金事業>

欧米豪の比較的富裕層が多い国からの観戦者が多く訪れるラグビーワールドカップ2019™の日本開催を契機とし、東京と他開催地等への周遊を促すためのプロモーションを実施するとともに、東京2020大会を契機に来日が多く見込まれる国に対する観光PRを行った。

(13) ビジット・ジャパン（VJ）地方連携事業

首都圏を訪れる訪日旅行者を増やし、かつ回遊性を高めて域内に長く滞在してもらうため、関東各地域の自治体及び交通機関等の民間事業者と連携。"Greater Tokyo"としての魅力を訴求するため、ウェブサイトを運営し、コンテンツの充実化を図った。

(14) 海外青少年の教育旅行受入促進事業 <東京都受託事業>

都内の学校関係者への学校交流受入説明会の開催をはじめ、受入窓口の運営を行い、海外青少年の教育旅行の受入を促進した。また、有望市場で実施される商談会等に参加し、現地教育関係者や旅行事業者へPRを行った。

(ア) 受入意識調査の実施（回答数364件（高校、教育委員会））

(イ) 都内学校関係者への学校交流受入説明会の実施（1回）

(ウ) 個別訪問説明会の実施（10校）

(エ) 学校交流の実施・支援（61件）

(オ) 海外商談会等参加

- ① 台湾：「ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業 現地説明会」（令和元年6月11日）  
現地旅行会社へのセールスコール（令和元年6月12日・13日）
- ② オーストラリア：「豪州における訪日教育旅行促進事業 現地説明会」  
（令和元年11月12日（キャンベラ）・14日（メルボルン））
- ③ アメリカ：「The 2019 ACTFL Annual Convention and World Language Expo」  
（令和元年11月22日～24日）

(15) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大

(ア) ニュースレターの発行

中国、台湾、香港、韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インドの旅行事業者やメディア等へ、年4回東京の最新情報を発信した。

(イ) 各種セミナー・商談会等への参加

JNTOが実施する各市場別セミナー等のセミナーや商談会に参加し、市場動向の把握やネットワークの拡大等を図った。

## 2 コンベンション誘致に関する事業

東京開催コンベンションの実績

- ① 国内基準（「2018年国際会議統計」日本政府観光局（JNTO）データ）

- ・会議開催件数 670 件
- ・国内都市別順位 1 位

② 国際基準（「国際団体連合（UIA）統計 2018」）

- ・会議開催件数 325 件
- ・国際都市別順位 5 位

(1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営＜東京都補助金事業＞

国や関連事業者等の様々な関係主体が連携を図り、より効果的にビジネスイベントを誘致・開催するため、MICE 連携推進協議会及び拠点、国際会議誘致、ユニークベニュー、テクノロジーの各部会を実施した（計 10 回）。合わせて関連事業者や都民にビジネスイベント誘致・開催の意義や重要性等の普及啓発を図るシンポジウムを開催した。

- ・東京都 MICE シンポジウム 2020  
開催日：令和 2 年 2 月 5 日（水）  
会場：東京都江戸東京博物館

(2) 国際会議誘致・開催支援事業＜一部東京都受託・補助金事業・出資金事業＞

(ア) 国際会議誘致支援

① 誘致マーケティング活動

- ・開催意向調査の実施

国内の学会・協会事務局及び東京近郊の大学キーパーソン 4,675 人に対し、開催意向調査を実施した。

- ・会議主催者への誘致活動

開催の可能性のある国際会議の国内対応団体等に対し、コンベンション開催に必要な情報（会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等）を積極的に提供し、東京への誘致に努めた。

- ・国内見本市への出展

東京国際フォーラムで開催された「第 29 回国際 MICE エキスポ（IME 2020）」（令和 2 年 2 月 26 日）に出展した。

- ・国内都市選定時の誘致活動

国内都市選定の際に、「コンベンション都市・東京」の優位性をアピールしたプロポーザルの作成やプレゼンテーションを実施した。

② 誘致プロモーション活動

- ・東京で開催を検討している 10 団体の国際会議主催者に対し、視察支援を実施した。

平成 31 年 4 月 2 日	国際医学会系会議主催者 3 名
令和元年 5 月 20 日～23 日	国際学会系会議主催者 2 名
令和元年 8 月 19 日～21 日	国際協会系会議主催者 1 名
令和元年 10 月 14 日	国際医学会系会議主催者 3 名
令和 2 年 2 月 4 日～6 日	国際協会系会議主催者 4 名
令和 2 年 2 月 23 日～26 日	国際医学会系会議主催者 2 名 等

- ・開催決定への支援活動

東京での開催を前提として立候補した大型国際会議について、ビッドペーパー（立候補書類）等の誘致ツール作成支援のほか、海外での総会等において東京での開催をアピールした。

- ③ 学術系国際会議誘致に対するハンズオン支援〈東京都補助金事業〉  
学協会・大学・研究者等に対し、財団の支援内容等について情報発信を行った。

(イ) 国際会議開催支援

① 参加促進への支援活動 〈東京都受託事業〉

東京開催が決定した大型会議の前回大会において、東京ブースを設置し、パンフレット等を配布することにより東京の魅力をアピールした。

- ・ 第 9 回応用数理国際会議 (ICIAM 2019)  
会期：令和元年 7 月 15 日～7 月 19 日  
会場：Valencia Conference Centre, University of Valencia (バレンシア、スペイン)

② 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議に、宣伝ツールの提供、観光や文化体験プログラム等に関する情報の提供、会議運営に関する情報の提供などを行った。

③ 国際会議開催支援プログラム 〈東京都受託事業〉

東京の魅力を PR し参加者の満足度を高め、再来訪につなげるとともに、口コミ効果など、参加者を通じた観光プロモーションによるインバウンドの促進を図るため、東京で開催された以下の大規模国際会議に対し、PR ブースの出展、都内観光ツアーの実施やアトラクションの提供等を行った。

- ・ 国際 QC サークル大会 (ICQCC2019)  
会期：令和元年 9 月 23 日～9 月 26 日  
会場：京王プラザホテル
- ・ 結合組織腫瘍学会 Connective Tissue Oncology Society Meeting (CTOS) 2019  
会期：令和元年 11 月 13 日～11 月 16 日  
会場：ヒルトン東京
- ・ 第 12 回アジア太平洋人工内耳学会 (APSCI2019)  
会期：令和元年 11 月 27 日～ 11 月 30 日  
会場：京王プラザホテル

④ 観光ボランティアを対象とした国際会議向けの研修 〈東京都受託事業〉

国際会議ボランティアとしての事前研修を実施し、会議に派遣した。

- ・ 第 29 回国際地図学会議  
派遣日：令和元年 7 月 14 日～20 日  
派遣場所：東京国際交流館プラザ平成、日本科学未来館、東京テレコムセンター等
- ・ 国際 QC サークル大会 (ICQCC2019)  
派遣日：令和元年 9 月 23 日～9 月 26 日  
派遣場所：京王プラザホテル
- ・ 結合組織腫瘍学会 Connective Tissue Oncology Society Meeting (CTOS) 2019  
派遣日：令和元年 11 月 13 日～11 月 16 日  
派遣場所：ヒルトン東京

(ウ) 国際会議誘致・開催資金助成等事業

① 国際会議誘致支援

東京都内で国際会議の開催を予定する 3 団体に対し、誘致活動経費の一部を助成する誘致助成金の交付を決定した。

## ② 国際会議誘致・開催支援

コンベンション開催助成の交付対象会議として、28 件の国際会議が登録され、22 件の開催地が東京に決定した。

- ・ハーバード世界模擬国連大会 2020 (WorldMUN2020) (2,100 名)
- ・One Young World Summit 2021 (2,000 名)
- ・シーグラフアジア 2021 (SIGGRAPH Asia 2021) (10,000 名)
- ・世界理学療法連盟 (WCPT) 学会・総会 2023 (13,000 名) 等

## ③ 国際会議等立上げ準備資金助成

東京において新たに国際会議の立上げを計画する主催者に対し、立上げに要する経費の一部を助成し、東京における立上げ型国際会議の開催を促進するための広報活動を行った。

## ④ 立上げ型国際会議等開催資金助成

主会場を東京都内として新たに立ち上げる国際会議に対し、開催経費の一部の助成、及び開催時の支援を約束する制度を主催者等に案内し、東京における開催を促進するための広報活動を行った。

## (エ) コンベンション統計事業

UIA/ICCA/日本政府観光局 (JNTO) 等が公表するコンベンション統計に用いるデータとして提供するため、都内で開催されたコンベンションについて、会議名や主催者名、参加者数等の調査を行った。

## (3) 国内会議等の国際化支援 <東京都補助金事業>

1 件の国内会議に対して、国内会議等の国際化支援プログラムとしてアトラクションの提供を行った。

## (4) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業 <一部東京都受託・補助金事業>

### (ア) 海外トレードショーへの出展

- ① フランクフルト MICE 見本市 (IMEX) (令和元年 5 月 21 日～23 日)
- ② ラスベガス MICE 見本市 (IMEX America) (令和元年 9 月 10 日～12 日)  
※民間事業者 5 社と共に出展
- ③ バルセロナ MICE 見本市 (ibtm world) (令和元年 11 月 19 日～11 月 21 日)

### (イ) 企業系ビジネスイベント誘致支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している 6 件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察のコース設定や都内サプライヤーの紹介などを行った。

- ・製薬メーカーインセンティブツアー (1,000 名予定・中国)
- ・化粧品会社インセンティブツアー (1,000 名予定・香港/台湾) 等

### (ウ) 企業系ビジネスイベント開催支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している 34 件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、ギブアウェイやレセプションへのアトラクション派遣、空港等での出迎えの提供を提案し、実施した。

- ・電気機器メーカー企業会議 (675 名・グローバル)
- ・化粧品・栄養補助食品メーカーインセンティブツアー (2,580 名・グローバル) 等

### (エ) 企業系ビジネスイベント開催支援メニュー開発 <東京都受託事業>

海外のミーティングプランナー等と連携し、海外競合都市や国内他都市との差別化を意識した東京ならではの特別感のあるメニューを開発した。

## (5) 展示会・イベント誘致・開催支援事業 <東京都補助金事業・出資金事業>

(7) 展示会における海外参加促進支援（国際化支援）＜東京都補助金事業＞

東京で開催される展示会へのインバウンド増加を促進するため、5件の展示会に対してブース出展費やパンフレット作成費の助成及び観光 PR リーフレット提供等の支援を行った。

(1) イベント誘致・開催資金助成 ＜東京都出資金事業＞

① イベント誘致資金助成：

東京都内で国際イベント誘致を目指す1団体に対し、誘致活動の経費を一部助成し東京への誘致を促進した。

② イベント開催資金助成・開催支援

イベント開催助成の交付対象イベントとして、1件の国際イベントが登録され、当該会議の東京開催が決定した。

③ 国際イベント立上げ資金助成

東京都内で国際イベントの立ち上げを計画する1団体に対し、立上げに要する経費の一部を助成する準備助成金を交付した。

④ 立上げ型国際イベント開催資金助成

主会場を東京都内として新たに立ち上げる国際イベントに対し、開催経費の一部を助成し、東京における開催を促進するための広報活動を行った。

(6) ビジネスイベント情報発信 ＜一部東京都補助金事業＞

(7) コンベンション開催情報発信

国内外の主催者・プランナーに対して、東京でのコンベンション開催に必要な情報や東京の都市の魅力に関する情報をよりわかりやすく提供するため、ホームページの定期更新を行った。また、海外のプランナーやプレスに対して「Business Events Tokyo eNewsletter」を年4回配信するとともに、プレスリリースも行った。

(1) 広告掲載による PR 強化 ＜東京都補助金事業＞

① 企業系ビジネスイベントの目的地としての東京を PR する広告デザインを制作し、以下のビジネスイベント専門誌へ広告を掲載し、開催地としての東京の魅力を PR した。

- ・ Cei 6月号
- ・ Mix 9・10月号、2・3月号
- ・ TTG mice 9月号

② アジア、欧州、北米より1名ずつメディアを東京へ招聘し、東京を PR する記事造成をサポートすることにより、以下のビジネスイベント専門誌へ記事広告を掲載し、開催地としての東京の魅力を PR した。

- ・ TTG mice 2・3月号
- ・ M&IT 3月号
- ・ Smart Meetings 1月号

③ 国際会議の目的地としての東京を PR する広告デザインを制作し、以下の国内外の学術研究誌等へ広告を掲載し、開催地としての東京の魅力を PR した。

- ・ 日経メディカル 7月号、10月号
- ・ 経団連タイムス 7月号、8月号、9月号、10月号、11月号、20年1月号
- ・ Headquarter Magazine 9月号、11月号

④ 都内のユニークベニュー施設とその利活用を取り上げた記事広告を国内5媒体、海外4媒体に掲出した。

国内)

- ・東洋経済：雑誌8月19日号、オンライン8月28日～9月25日
- ・プレジデント：雑誌9月13日号、オンライン9月13日～10月13日
- ・日経ビジネス：雑誌11月29日号、オンライン12月5日～1月10日
- ・ダイヤモンド：雑誌1月27日号、オンライン1月17日～2月27日
- ・MICE JAPAN：雑誌2月29日号

海外)

- ・IMEX AMERICA Special Show Report 2019：雑誌9月号
- ・Successful Meetings：オンライン9月6日～10月4日、メールマガジン9月9日・26日
- ・The Economist：オンライン（第1弾：11月18日～、第2弾：2月3日～）
- ・TTG mice：雑誌2・3月号

#### (ウ) MICE ファムトリップ <東京都補助金事業>

開催地決定に大きな影響力をもつ国際団体本部キーパーソン（国際会議）や開催候補地の提案等を行う立場にあるコア PCO（国際会議）、国際団体本部（国際会議）、ミーティングプランナー（企業系ビジネスイベント）に対するファムトリップを行い、MICE 開催都市東京の魅力を伝えるとともに、都内関連事業者とのビジネスマッチングを行うことで、東京での MICE 開催を促進した。

・ファムトリップ

国際団体本部／コア PCO（国際会議）：3 団体／社 6 名

ミーティングプランナー（企業系ビジネスイベント）：計 3 回、28 社 28 名

#### (エ) 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築 <東京都補助金事業>

海外ミーティングプランナーが加盟する組織等と連携し、現地における誘致案件や優良顧客情報を収集して、現地での東京 PR を実施した。

#### (オ) 訪問営業（セールスコール・ロードショー）の実施 <東京都補助金事業>

ビジネスイベント開催地としての東京の魅力を効果的に発信し、企業系ビジネスイベントの掘り起こしを行うために、都内関連事業者と連携して、以下エリアの主催者やミーティングプランナーへの訪問営業を実施した。

① セールスコール（6月）：東南アジア（ジャカルタ、ハノイ）、中国（香港、北京）

② ロードショー（11月）：中国（北京、広州）

#### (カ) MICE 拠点育成支援エリア PR 事業 <東京都補助金事業>

従来の6エリア（丸の内、六本木、臨海副都心、日本橋、品川、八王子）のPRに加え、平成30年度にMICE 拠点育成支援エリアに指定された「立川」について、各エリアの概要や主要施設情報、これまでのMICE 関連イベントの開催実績などを紹介するとともに、海外のミーティングプランナーの視点を有するMICEライターによる寄稿記事も合わせて掲載した。

#### (キ) 都内展示会主催者向けセミナーの開催 <東京都補助金事業>

都内展示会主催者を対象に、展示会国際化のメリット等を訴求するとともに支援助成事業について周知した。

・日時：令和元年6月25日

・場所：公益財団法人東京観光財団

#### (7) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築 <東京都補助金事業>

海外他都市との熾烈な国際競争を勝ち抜くため、海外先進都市で組織される国際アライアンスであるベストシティーズ・グローバルアライアンス（正式表記「BestCities Global Alliance」）に東京として加盟し、各種情報収集を行うとともに、ビジネスイベントの目的地としての東京のプロモーション

に役立てた。

またその他の MICE 関連団体等の総会や研修会に、延べ 6 名の職員を参加させ、海外の MICE 関係団体と接点の増加を図った。

加えて、一定の条件を満たす延べ 3 名の職員を海外国際団体等へ派遣し、国際競争等の最前線を経験させた。

(8) MICE 施設の受入環境整備事業 <東京都出資金事業>

国際的なビジネスイベントの誘致を促進するにあたり、受入に積極的な都内 2 施設に対し、施設機能強化を支援する助成を行った。

(9) ユニークベニュー利用促進事業 <東京都補助金事業>

都内のユニークベニューを利用してレセプション等を行ったビジネスイベント主催者(以下を含めた計 5 件)に対して、設営費等の補助、会場側との諸調整などの支援を行った。

・ Disney Wedding Dress 5<sup>th</sup> Collection

開催日：令和元年 10 月 8 日

会 場：東京国立博物館 表慶館

・ 2019 Fashion Show 「Impression」

開催日：令和元年 12 月 22 日

会 場：自由学園明日館

(10) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援 <東京都出資金事業>

ユニークベニューとなる施設 1 件に対し、イベントやレセプション等の開催に必要な設備の導入を支援した。

(11) ユニークベニューワンストップ窓口の運営 <東京都受託事業>

ユニークベニュー利用希望者に対し、豊かな知見に基づくコンサルティングによって適切な施設の紹介、特別感を演出できるイベントの企画提案、利用施設等との調整等、ワンストップで総合的な支援を行う窓口を運営し、利用者と施設のマッチングを推進した。

(12) ユニークベニューの魅力発信 <東京都補助金事業・受託事業>

(ア) ユニークベニューショーケースイベント

都内ユニークベニューの魅力や活用方法を幅広く発信するため、施設の視察ツアーやレセプション等を含んだショーケースイベントを計 3 回実施した。

① 第 1 回 令和元年 7 月 8 日 刀剣博物館

② 第 2 回 令和元年 10 月 10 日 帝釈天題教寺・柴又帝釈天前参道商店街

③ 第 3 回 令和元年 12 月 3 日 旧前田家本邸洋館

(イ) ユニークベニュー専用ウェブサイトの更新

海外のビジネスイベント主催者や DMC 等に向けて、都内ユニークベニューをわかりやすく伝えるため、360°画像などを盛り込んだユニークベニュー専用ウェブサイトに掲載施設を追加した。

(13) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業 <東京都出資金事業>

東京都が指定した以下の東京ビジネスイベント先進エリア及び多摩ビジネスイベント重点支援エリアにおいて、ビジネスイベント開催及び誘致能力を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた助言、提案等の支援を行った。

① 大手町・丸の内・有楽町エリア

② 六本木・赤坂・麻布エリア

③ 臨海副都心エリア

④ 日本橋・八重洲エリア

⑤ 品川・田町・芝・高輪・白金・港南エリア

⑥ 八王子エリア

## ⑦ 立川エリア

### (14) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進 <東京都補助金事業>

東京と異なる魅力を持つ国内の7都市と協力体制を構築し、共同でMICEの誘致活動等を実施した。企業系ビジネスイベントでは連携都市と共同でミーティングプランナー向けファムトリップの実施等、国際会議では地方送客に向けたモデルコースの造成、PRツールの作成等を行った。

・令和元年度連携都市：札幌市、石川県、京都市、福岡市、名古屋市、沖縄県、福島県

### (15) MICE 専門人材育成事業 <東京都負担金事業>

#### (ア) MICE 専門人材育成講座（基礎）の実施

MICE ビジネスのグローバルスタンダードを身につけた専門人材を育成するため、企業系ビジネスイベント、国際会議及び展示会・イベントの3分野のほか、テーマ別（ユニークベニュー、エリアマネジメント、環境配慮、テクノロジー）に関する基礎編の専門人材育成講座を有料で実施した。

##### ① 前期：国際会議（全5回）

日程：令和元年7月30日～9月3日

展示会（全2回）

日程：令和元年9月5日、12日

イベント（全2回）

日程：令和元年9月19日、9月26日

テーマ別講座（全4回）

日程：令和元年8月1日～8月29日

##### ② 後期：インセンティブツアー（全5回）

日程：令和元年12月4日～令和2年1月15日

#### (イ) MICE 専門人材育成講座（実践）の実施

国際会議及び企業系ビジネスイベントの2分野を対象に、MICEの専門人材育成にノウハウを持つ国際団体と連携して実践編の人材育成講座を有料で実施した。

##### ① 国際会議（2日間）：令和元年12月9日～10日

##### ② インセンティブツアー（2日間）：令和2年1月21日～22日

#### (ウ) 企業系会議・報奨旅行等関連事業者向け実務マニュアルの作成

A4版50ページのマニュアルを日本語で1000部制作し、都内の事業者へ配布した。

#### (エ) 出張講座の実施

都内ビジネスイベント関連事業者等が実施する1件の研修に対して講師を派遣した。

#### (オ) 大学教授等を対象としたセミナー開催

令和元年7月25日に2回に分けてセミナー及び個別商談会を実施した。

### (16) MICE マーケティング戦略の構築 <東京都受託事業>

#### (ア) 国際会議に係る施策の振り返りによる効果検証及び分析調査

MICE開催のメリットである「経済波及効果」、「都市の産業力の強化」、「都市のプレゼンスの向上」の視点から施策の効果検証、及び課題等を分析するための基礎調査を実施した。

#### (イ) KPIによる効果測定及び戦略等の検証

企業系ビジネスイベント、国際会議及び展示会・イベントの具体的施策を測定するために設定されたKPIについて、測定を行った。

### 3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興 <一部東京都補助金、受託事業>

(ア) 地域振興助成 <東京都補助金事業>

観光団体等が旅行者誘致の視点で企画するイベントなどの観光振興事業に対して、12 件の助成を行った。

	申請団体	事業名
1	(一社)大多摩観光連盟	西多摩地域の観光振興のための3講座実施事業
2	調布市観光協会	新選組局長近藤勇を活用したにぎわいの創出事業
3	昭島市商工会	アキシマクジラ新種認定に伴う「くじら焼き事業」
4	(特非)神津島観光協会	天上山マップの製作
5	(一社)大田観光協会	第7回蒲田映画祭 (オリンピック回顧展&わが人生の思い出の映画たち)
6	(一社)上野観光連盟	地域観光デジタルマップ作成事業
7	(公財)世田谷区産業振興公社	世田谷まちなか観光ホームページの多言語化促進事業
8	(公財)八王子観光コンベンション協会	体験学習フェア八王子 2019 in 高尾山
9	(一社)東京諸島観光連盟	サイクルモードインターナショナル 2019 出展事業
10	(一社)中央区観光協会	東京マラソン EXPO2020
11	(一社)青梅市観光協会	青梅みやげ・飲食店ガイド作成事業
12	(一社)日の出町観光協会	ラグビーワールドカップ 2019™ ファンゾーン in 東京

(イ) 東京トラベルマートの開催

#### ① 東京トラベルマート

観光団体や企業と旅行会社、メディア等による商談会を主催し、観光資源の発掘と旅行商品造成の促進による地域観光の活性化を図った。

開催日：第1回 令和元年7月1日

会場：東京タワー 地下一階タワーホール

商談会：14：00～17：00 情報交換会 17：00～18：00

出展団体：26社(旅行会社)

参加団体：31社(サプライヤー企業 20社、自治体・観光協会等 11団体)

開催日：第2回 8月30日

会場：東京しごとセンター 地下講堂

商談会：14：30～17：00

出展団体：12社(旅行会社)

参加団体：17社(飲食業 8社、宿泊業 9社)

(ウ) 観光団体等との連携

観光協会・団体等が主催するイベントを後援・協賛するとともに、区市町村が設置する各種委員会等への積極的な参画や、都内および全国の観光団体等と積極的に連携を図り、観光情報の発信等を通じ地域の活性化を促進した。

① 公益社団法人日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協会の各種会合に参加し、情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰の推薦を行った。

- ・日本観光振興協会：総会 令和元年5月28日
- ・関東支部：評議員会 令和元年4月19日、総会 令和元年4月19日
- ・関東ブロック広域観光振興事業推進協議会 令和元年4月19日
- ・関東甲信越静観光協会・連盟協議会：総会 令和元年4月19日、委員会 7月11日～12日（千葉県）、10月17日～18日（八丈島）、令和2年2月27日（日本観光振興協会）
- ・「ふるさと観光展 IN 仙台駅」出展 令和元年10月2日～4日 15団体資料等参加

② 地域団体との連携

地域観光団体等に対し情報提供を行うとともに、観光・地域振興について情報交換を行った。

- ・「ふるさと観光展 IN 仙台駅」（令和元年10月2日～4日）に大多摩観光連盟及び東京諸島観光連盟と連携して出展し、広域的な観光情報発信を行った。

(エ) アンテナショップ支援事業 <東京都受託事業>

都内に集積する日本各地の特産品を扱うアンテナショップを周遊するイベントとアンテナショップ掲載情報誌の制作・配布により、都内消費拡大および地方への誘客を促した。

- ① 夏：冊子作成：令和元年8月
- ② 冬：冊子作成・イベント実施期間：令和2年1月24日～2月24日
- ③ イベント参加店舗数：63店舗
- ④ アンテナショップ掲載情報冊子：各60,000部制作・配布

(オ) 島しょ地域における観光連携実践プロジェクト<東京都受託事業>

東京諸島の連携強化に向け、東京諸島観光連携推進協議会の行う、プロモーション活動、ツール・商品開発等の事業におけるサポートを実施した。

(カ) 世界自然遺産を活用した観光振興<東京都負担金事業> 【再掲】

国内の世界自然遺産登録地を有する地方公共団体（北海道、青森県、秋田県及び鹿児島県）と連携し、共同ウェブサイトの開設・運営、東アジア有力旅行サイト内特設サイトの設置、オンライン広告の実施及びOTA（Online Travel Agent）との連携により、世界自然遺産の知名度を生かしたPRを行った。

また、世界自然遺産登録地を持つ地方自治体が連携し、東京と日本各地への旅行者誘致促進を目的とする、現地旅行会社等を対象とした商談会を東京及び大阪を含む国内3か所において実施した。

- ・東京会場：令和元年9月19日 参加人数36名 セラー10事業者 商談件数55件
- ・大阪会場：令和元年10月24日 参加人数30名 セラー12事業者 商談件数35件
- ・名古屋会場：令和元年11月26日 参加人数13名 セラー11事業者 商談件数26件
- ・ツアー造成（予定）本数36本

(2) 魅力を高める観光資源の開発 <東京都出資金事業、受託事業、負担金事業>

(ア) 地域資源発掘型実証プログラム事業 <東京都出資金事業>

観光協会のほか民間企業など多様な主体が共同で実施する観光資源の発掘や既存の観光資源の磨き上げなどによる特産品の開発やイベント等の誘客の取組に対して支援した。

	申請団体	事業名
1	(一社)青梅市観光協会 Iwakura Experience	岩蔵温泉ルーラルツーリズム・プロジェクト～多様な主体による潜在型観光地づくり～
2	(一社)小金井市観光まちおこし協会 (株)JR 中央ラインモール	コガアニ戦略推進拠点整備プロジェクト
3	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国文学研究資料館	「令和」記念！五感で味わう古典の森

	立川商工会議所 多摩信用金庫	
4	国分寺市観光協会 国分寺商工会 東京むさし農業協同組合	国分寺三百年野菜「こくベジ」を活用したインバウンド・多文化共生促進プロジェクト
5	(一社)港区観光協会 カサイホールディングス(株) (一社)東京水の都推進協議会	空・海・大地 つなぐ港 Fes
6	(株)数馬観光デザインセンター (一社)檜原村観光協会	村民協働による持続可能な特産品づくり ～山村の食文化を活かしたひのはらスイーツ開発～
7	(一社)東京北区観光協会 まちづくり北(株)	新紙幣の顔 CHANGE 諭吉→栄一
8	(一社)中央区観光協会 東京商工会議所中央支部	外国人誘客事業「インバウンド向け日本文化体験プログラム開発」
9	(公財)八王子観光コンベンション協会 高尾山商店会	日本の自然と文化を満喫する 夏の高尾山“清涼”体感めぐり
10	(一社)武蔵野市観光機構 (株)けやき出版	吉祥寺におけるホップ育成+オリジナルビール製造プロジェクト

(イ) 東京 2020 大会を契機としたイベント開催支援 <東京都出資金事業>

東京 2020 大会開催の機会を捉えて、都内各地での旅行者の周遊につなげていくため、地域の観光協会や企業・団体など多様な主体が連携し、大会期間中やその前後を含めた 2020 年に実施する PR イベント等を行い、東京の魅力を国内外に発信する事業について支援した。

	申請団体	事業名
1	(株)文化放送	シバハマらくご祭り
2	(株)フジランド	～そば・日本酒・花～博覧会 大江戸和宴 2020
3	(一社)浅草観光連盟	「水の都・東京」隅田川水際祭り 「新・江戸四橋祭り」を中核とした江戸・東京水際文化の祭典
4	東京を食べる江戸を食べる実行委員会	東京を食べる江戸を食べる in 築地 ～Let's eat up Old meets New Tokyo!～
5	(株)エフエム東京	TOKYO 地元メシ&サケ Fest「5000 人の乾杯リレー」
6	(一社)墨田区観光協会	隅田川 川開き de おもてなし
7	(一社)青梅市観光協会	御岳山天空縁日
8	(一社)町田市観光コンベンション協会	町田 堺の大祝宴
9	(一社)新宿観光振興協会	江戸東京・内藤新宿 秋縁日
10	(一財)足立区観光交流協会	足立区「遊ば☆n i g h t (ナイト) パスポート」

※申請団体は、主たる申請者のみを記載。

(ウ) 旅行博等による東京の魅力 PR <東京都受託事業>

大規模旅行博へのブース出展等、多摩・島しょへの誘客を促進するイベントを実施した。  
「ツーリズム EXPO ジャパン 2019」へのブース出展

- ・会期：令和元年 10 月 24 日～10 月 27 日
- ・場所：インテックス大阪（大阪府大阪市）
- ・内容：多摩・島しょ地域に親しんでもらえるワークショップ等を実施

(エ) 多摩・島しょ魅力発信事業 <東京都受託事業>

多角的かつ集中的なプロモーションにより、多摩・島しょ地域へのさらなる誘客を図った。

① WEB、メディア等による情報発信

多摩・島しょ地域の魅力を発信するために、国内旅行者と外国人旅行者に対し、WEB サイト、SNS、VR 動画、交通広告など様々な情報発信ツール及び広告媒体を多角的に活用した情報発信による集中的なプロモーションを実施した。

A) 「TAMASHIMA.tokyo」の WEB サイトの制作・編集・運用

1 既存サイト「TAMASHIMA.tokyo」のリニューアル

日本語版及び英語版を 7 月 31 日に、繁体字版を 9 月 9 日に公開

2 日本語、英語サイト等

コラボレーション記事（antenna、Japanguide.com）等を新たに作成

B) 「TAMASHIMA.tokyo」の SNS の運用

1 既存の Facebook・Instagram アカウントにて週 1 回程度投稿

2 専用の事務局を設置した体制にて日本語・英語版 4 月 12 日に配信開始

3 新たに TripAdvisor アカウントを開設し、日本語版及び英語版で 7 月 10 日に配信開始  
週に 1 回程度投稿

C) WEB・SNS 広告の実施

1 Google Display Network、Youtube、Facebook、Instagram、Outbrain 及び TripAdvisor

新規映像・バナー及び平成 28 年度に制作した映像を 9 月から 3 月まで、各国の旅行シーズン前を狙って配信

対象国：日本、台湾、香港、シンガポール、アメリカ、イギリス、オーストラリア

2 キュレーションサイト

外部メディアである「antenna」「Japanguide.com」とタイアップし、メディア目線でのコラボレーション記事を制作

D) 映像等に関すること

VR 映像の放映：

1 東京観光情報センター多摩、東京スカイツリーで体験イベント実施

2 WEB サイトに継続して掲出

E) 交通広告・屋外広告に関すること

「ジャパニメーション」を用い、多摩・島しょ地域の魅力をイラストレーションで表現する計 5 種（多摩 3 種、島しょ 2 種）のグラフィックを制作し、都営地下鉄、東京メトロ、JR 東日本、京王電鉄等の媒体にて掲出した。

また、JAL 国際線、ANA 国際線の機内モニターにて PR 映像を放映した。

② 観光復興支援事業（観光誘客キャンペーン）

令和元年台風 15 号及び台風 19 号により、被害を受けた多摩・島しょ地域への観光客誘客に向けた観光 PR 及び、旅行需要の早期回復、喚起に向けた誘客事業を実施

A) PR ポスターの作成

B) 屋外広告、交通広告の実施

C) WEB サイト「TAMASHIMA.tokyo」での情報発信

(オ) 多摩・島しょ地域旅行商品販売促進事業 <東京都出資金事業>

多摩・島しょ地域の豊かな観光資源を活かした体験コンテンツを造成し、効果的なプロモーション

ンを行うことにより販売を促進することで、2020 年に向けて増加が見込まれる東京への外国人旅行者や日本人旅行者を多摩・島しょ地域へ送客した。

① 外国人旅行者向け

多摩地域で 8 件、島しょ地域（神津島）で 8 件の体験コンテンツを造成し、販売。

② 国内旅行者向け

多摩地域で 19 件、島しょ地域（新島、式根島）で 10 件の体験コンテンツを造成し、販売。

(カ) 多摩・島しょ観光交通促進プロジェクト <東京都出資金事業、補助金事業>

① 調査・実証実験 <東京都出資金事業>

多摩地域・島しょ地域の交通手段やその利用状況等を取りまとめるための調査を実施し、調査結果を踏まえ、多摩地域において広域的な実証実験を実施した。

- ・事業概要：シェアサイクル・ナビ技術を持つ民間事業者等と連携し、シェアサイクルの実証実験を実施し、電動アシスト自転車を活用した周遊観光の有効性を検証する。
- ・実施期間：令和 2 年 2 月 25 日から 1 年程度
- ・実施場所：秋川渓谷流域（あきる野市、日の出町）、御岳渓谷流域（青梅市）

② 観光交通インフラ整備支援事業 <東京都補助金事業>

多摩・島しょ地域内において、シェアサイクルや新たな交通用具等を活用した二次交通充実の取組について、以下計 1 件の事業を採択した。

申請団体	事業名
町田市	交通用具の活用を促す PR ツールの作成

(キ) 新たなツーリズム開発支援事業 <東京都出資金事業>

多摩・島しょ地域において、体験型・交流型の要素を取り入れたグランピングなどの新たな観光スポット開発を実施する民間事業者等の取組をモデルプロジェクトとして選定した。

・令和元年度モデルプロジェクト選定数 2 件（事業開始時から計 5 件が進行中）

採択年度	事業名	実施地域	事業者名
平成 30 年度	幸福に人が暮らせる里『へんぼり』のツリーハウス型宿泊施設開発事業	檜原村	株式会社井上店
	TRUE FUSSA PROJECT	福生市	株式会社カーライフサービス 多摩車両
	NIJIMA 菜宿物語	新島村	株式会社 Nijima Farmers
令和 元年度	武蔵野から繋げる里資源開発型ファームステイ事業	三鷹市	株式会社旅倶楽部
	HINOKO TOKYO “SAUNA CAMP PROJECT”	檜原村	トレイルヘッズ株式会社

(ク) 島しょ地域キャッシュレス化推進事業 <東京都出資金事業>

島しょ地域においてプレミアム付宿泊旅行商品券（しまぼ通貨）を販売するとともに、新たなキャッシュレス化の仕組みの構築に向けた実証実験を実施し、旅行者の更なる誘致及び利便性の向上を図った。

① プレミアム付電子宿泊旅行商品券「しまぼ通貨」の販売

- ・事業概要：Web にて 10,000 円分のプレミアム付き宿泊旅行商品券を 8,000 円で販売  
スマートフォン／携帯電話で利用
- ・販売期間：令和元年 7 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

- ・販売数 : 46,660 セット / 466,600,000 円
- ・登録者数 : 10,395 人
- ・加盟店数 : 338 店舗

② 島しょ地域キャッシュレス化推進事業 (実証実験)

- ・事業概要 : 島しょ地域のキャッシュレス化を推進し、旅行者の利便性の向上を図るとともに、キャッシュレス決済を活用した観光誘客キャンペーンを実施することで、島しょ地域への誘客効果を検証する。
- ・実施期間 : 令和元年 11 月 1 日 ~ 令和 2 年 11 月 1 日
- ・実施場所 : 八丈町
- ・協力店舗数 : 64 店舗 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

(ク) 島しょ地域を活用した縁結び観光プロジェクト <東京都出資金事業、補助金事業>

「婚活」やお見合いを目的とした、島しょ地域を観光する旅行商品の造成・販売促進を実施するとともに、地域の縁結びコンテンツの開発、磨き上げを行うプランナーを現地に派遣しプロモーションを実施した。

① 旅行商品の造成支援

民間事業者を対象に、「婚活」やお見合いを目的とした、島しょ地域を観光する旅行商品造成に対して造成・広報に係る経費の一部について助成した。

- ・交付決定事業者数 : 4 社
- ・交付決定事業数 : 5 件

② プランナー派遣

島の縁結びコンテンツの開発、磨き上げに向け、体験コンテンツやパワースポットのコンサルティングを実施しているプランナーを派遣し、現地の観光協会等にアドバイスするとともに現地の様子を発信した。

- ・派遣実績 : 三宅島 (4 回)、八丈島 (3 回)、父島 (1 回)、母島 (1 回) 計 9 回

③ PR プロモーション

A) 動画作成

縁結びを題材としたストーリー性のある動画を作成し、オウンドメディアや SNS 等で広く発信した。

B) 観光 PR パンフレットの制作及び配布

制作 : 10 万部

配布 : 女性向け情報誌オズマガジンにてとじ込み付録として展開した他、「東京観光情報センター (東京都庁、羽田空港、京成上野及びバスタ新宿)」や、各島観光協会等で配布した。

C) Web プロモーション

OZmall に特集ページを作成し、冊子のダウンロード及び助成対象ツアーの PR を実施した。

(3) 観光まちづくりの支援事業の実施 <東京都受託事業・補助金事業・出資金事業>

(ア) 地域における観光まちづくりの支援 <東京都受託事業・補助金事業・出資金事業>

① 観光活性化フォーラムの開催 <東京都補助金事業>

都内の観光行政・観光協会・観光関連事業者等を対象として、地域の魅力を活かした観光振興への取組を支援する目的で 2 部構成にて実施。第 1 部では地域の観光活性化についての

講演と東京都事業を活用した取組の事例発表を行い、第2部では情報交換や商談を行う「観光情報交換会」及び「東京都観光まちづくりアドバイザー個別相談会」を実施。

- ・開催日：令和2年2月6日
- ・会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町
- ・来場者数：172名

第1部 講演会：13：05～14：50

- i) 基調講演 「シャンパン・スノーと経済効果」
  - ・講演者：ツーリズム・コンサルタント ポール・ハガート
- ii) 観光まちづくり対談 「今、東京が学ぶべき「事例」と「課題」」
  - ・講演者：ソトコト編集部 副編集長 小西 威史  
一般社団法人町田市観光コンベンション協会 坂本 愛

第2部 観光情報交換会・相談会：14：50～17：30

- i) 観光情報交換会：希望する観光協会・観光行政等が個別にブースを設け、主に各種メディアや旅行会社を対象として、情報交換や商談を行う場を設定
  - ・出展団体（自治体・観光協会等）：21団体
- ii) ミニセッション：地域の事例4件をミニセッション形式で紹介
  - ・平成30年度 地域資源発掘型実証プログラム 事例紹介：稲城クロス
  - ・平成29年度 東京観光財団助成金 活用事例紹介：文京区立肥後細川庭園 松聲閣 秋の紅葉ライトアップ
  - ・平成30年度地域資源発掘型実証プログラム 事例紹介：三宅島の巨樹探索ツアー
  - ・平成30年度 東京観光財団助成金 活用事例紹介：深川の川床による水辺のにぎわい創出プロジェクト

② 学生インターン事業 <東京都出資金事業>

教育機関が有する人材や知見を事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成するため、都内観光系大学等の学生を観光協会等に派遣した。

	派遣先	大学名
1	公益財団法人 世田谷区産業振興公社	杏林大学
2	一般社団法人 墨田区観光協会	明治大学・杏林大学
3	一般社団法人 小笠原村観光協会	杏林大学
4	一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会	立教大学
5	一般社団法人 新宿観光振興協会	玉川大学
6	一般社団法人 昭島観光まちづくり協会	立教大学
7	深川観光協会	目白大学・成蹊大学
8	一般社団法人 檜原村観光協会	川村学園女子大学

③ 観光人材育成支援事業 <東京都補助金事業>

地域の観光振興をリード・コーディネートしていくことができる人材を育成するため、地域の観光振興を担う観光協会等に対して多面的に人材育成研修を実施した。

A) 前期研修（全3回）

- ・第1回 「事務局長向け研修（東京の観光振興、観光協会の組織運営、人材育成等）」  
日時：6月4日 13：30～17：30 会場：東京観光財団 参加者：13名
- ・第2回 「新任者向け研修（観光の基礎知識、観光協会の役割等）」  
日時：6月13日 13：30～17：30 会場：東京観光財団 参加者：12名
- ・第3回 「新任者向け研修（観光の基礎知識、観光協会の役割等）」  
日時：6月19日 13：30～17：30 会場：都立多摩図書館 参加者：9名

B) 後期研修 (全3回)

- ・第4回 「効果的な情報発信を目指して 日々重ねる創意工夫とは」  
日時：11月27日 13:30～17:30 会場：日本交通公社 参加者：7名
- ・第5回 「「地域のプラットフォーム」として求められる観光協会の役割とは」  
日時：12月11日 13:30～17:30 会場：日本交通公社 参加者：10名
- ・第6回 「住民の豊かな暮らしを実現するために「観光」が果たせる役割とは」  
日時：1月29日 13:30～17:30 会場：日本交通公社 参加者：16名

④ アドバイザー派遣事業 <東京都出資金事業>

各地域の課題にあわせ、11団体へ計17名の専門家を派遣した。

	申請団体	派遣アドバイザー	
		氏名	所属団体
1	武蔵村山市観光協会設立準備委員会	梅川 智也	立教大学観光学部
		山下 真輝	(株) JTB 総合研究所
2	国分寺市観光協会	渡邊 知	(株) ファイアープレイス
3	千代田区観光協会	大森 峻太	(株) ジェイノベーションズ
4	神津島観光協会	鈴木 雄介	伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局
		小林 淳	静岡県富士山世界遺産センター
5	小笠原村観光協会	寺崎 竜雄	(公財) 日本交通公社
		澤 功	旅館「澤の屋」
6	八丈島観光協会	海津ゆりえ	文教大学国際学部
		松本 毅	(有) 屋久島野外活動総合センター
7	みたか都市観光協会	小笠原 功	(株) まることにつぼん
		及川 卓也	(株) マガジンハウス
8	一般社団法人町田市観光コンベンション協会	吉澤 清良	(公財) 日本交通公社
		井上 正幸	(一社) 秩父地域おもてなし観光公社
9	多摩市観光まちづくり交流協議会	大下 茂	帝京大学経済学部
10	公益財団法人世田谷区産業振興公社	今村 まゆみ	観光まちづくりカウンセラー
11	調布市観光協会	原島 秀一	さくら会計原島秀一税理士事務所

⑤ マーケティングを活用した計画策定支援 <東京都出資金事業>

旅行者の多様なニーズや地域の魅力・強みを的確に把握するためのマーケティング調査・分析等と、アドバイザーの派遣を行うことにより効果的な旅行者誘致の展開に向けた事業計画等の策定支援を目的として、以下の2件の事業支援を行った。

- ・渋谷マーケティング実態調査及び事業計画策定支援
- ・上野回遊性向上事業計画策定支援

⑥ 観光まちづくり支援助成事業 <東京都出資金事業>

地域の観光産業の活性化や経営力強化を図ることを目的とした事業実施に対して、18件の助成を行った。

	申請団体	事業名
1	(一社)墨田区観光協会	まち歩きツアー造成及び予約管理システム導入事業 (予約管理システム)
2		まち歩きツアー造成及び予約管理システム導入事業 (ナイトツアー造成)
3		まち歩きツアー造成及び予約管理システム導入事業 (情報発信)
4	(一社)練馬区産業振興公社	「ねりま観光センター×ねり歩きガイドの会コラボツアー」事業
5	(一社)上野観光連盟	上野観光連盟ホームページ多言語化対応事業
6	(公益)世田谷区産業振興公社	観光情報冊子「Setagaya Guide Book」日本語版制作等事業
7	(一社)昭島観光まちづくり協会	昭島ロケーションサービスの市民エキストラ管理システム構築
8	(特非)府中観光協会	2019 ラグビーワールドカップ けやき並木おもてなしイベント
9	(一社) 町田市観光コンベンション協会	「自転車ロードレースを応援しよう!! 2019 in 町田 堺」
10	青梅商工会議所	青梅・奥多摩もみじ協定 東京で一番早い紅葉情報の発信
11	(一社)青梅市観光協会	スマホによるインバウンド対応観光ガイド事業
12	(特非)国立市観光まちづくり協会	「国立三角駅舎物語」刊行と「レトロ駅フォーラム」開催プロジェクト
13	(一社)こだいら観光まちづくり協会	訪日外国人誘致プロジェクト～小平グリーンロードを中心に～
14	狛江市観光協会	狛江市観光協会ホームページモバイル対応等改修事業
15	武蔵村山市観光協会設立準備委員会	武蔵村山観光まちづくり協会設立
16	(一社)大多摩観光連盟	大多摩観光連盟ホームページ新規制作事業
17	(一社)小笠原母島観光協会	母島観光協会英語 PC サイトおよびモバイルサイト構築事業
18	(一社)小笠原村観光協会	新父島マップパンフレット制作事業

(イ) TOKYO 再発見！街歩きツアー事業 <東京都補助金事業>

観光協会等が行う街歩きツアーの情報をラグビーワールドカップ 2019™ 期間中に集中して配信し、観光協会等の街歩きツアーの認知度向上に繋げるとともに、都民のまちへの誇りや愛着を醸成した。またオープニングイベントを実施し、イベントの PR 強化を図った。

- ・ツアー実施期間：令和元年9月14日～12月15日
- ・参加団体・ツアー数：国内向け18団体・35ツアー
- ・海外向け9団体・12ツアー
- ・ツアー催行回数・述べ参加者数：国内向け47回・736名 海外向け5回・21名

(ウ) 水辺のにぎわい創出事業 <東京都出資金事業>

観光関連団体や水辺活動団体等が行う水辺のにぎわいを創出する事業を採択した。

	申請団体	事業名
1	(一社)水都創造パートナーズ	日の出ふ頭小型船ターミナルオープニングイベント
2	(一社)天王洲・キャナルサイド活性化協会	天王洲キャナルフェス 2019 夏 天王洲キャナルフェス 2019 冬

3	(株)竹中工務店	汐浜運河沿いの健康・防災ステーション設置によるにぎわい創出プロジェクト
4	フィール(株)	川床と旅館業による隅田川水辺のにぎわい活性化プロジェクト

(エ) 東京ライトアップ発信プロジェクト <東京都出資金事業>

① 建造物等のライトアップモデル助成

都内の建造物等を保有する民間事業者・区市町村等が行うライトアップの取組や広域的なライトアップ計画等の作成といった事業を採択した。

	申請団体	事業名
1	港区	港区芝浦港南地区橋りょう等ライトアップ
2	品川区	ヒカリの水辺プロジェクト
3	江戸川区	タワーホール船堀 展望塔南側ライトアップ器具設置事業
4	国立市	旧国立駅舎常設ライトアップ用照明設備の購入及び設置
5	東京モノレール(株)	東京モノレール羽田空港線 大井競馬場前駅ライトアップ
6	中川特殊鋼(株)	天王洲セントラルタワーライトアップ事業
7	(株)船清	インバウンドツーリストをターゲットとした水辺の明かりによるおもてなし事業

② 春・秋のライトアップモデル助成

観光協会等が行う春や秋の自然などを活用したライトアップの事業を採択した。

<春> 新規採択7件(下記)、他 継続8件

	申請団体	事業名
1	一般社団法人 奥浅草観光協会	2020 春 櫻色に染まる奥浅草・江戸回廊
2	一般社団法人 江東区観光協会	「ONE TOYOSU」SAKURA祭り
3	渋谷駅前共栄会	「桜丘さくら坂桜ライトアップ事業」
4	一般社団法人青梅市観光協会	「青梅鎌の淵桜ライトアップ事業」
5	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	「桜・ライトアップ in こだいら」
6	一般社団法人 稲城市観光協会	「三沢川 さくら通り ライトアップ事業」
7	国分寺市観光協会	「史跡 武蔵国分寺跡ライトアップ」

<秋> 新規採択1件(下記)、他 継続5件

	申請団体	事業名
	一般社団法人 奥浅草観光協会	2019 奥浅草 秋の紅葉江戸回廊

③ イベント等を活用したライトアップモデル助成

イベント等を活用して建造物等の一時的なライトアップを行う民間事業者・区市町村等の事業を採択した。

	申請団体	事業名
	株式会社 ジェイアール東日本企画	港区芝浦東口エリアライトアップ事業

④ 東京 2020 大会時のライトアップ助成

東京 2020 大会開催期間の一時的なライトアップを行う民間事業者・区市町村等の事業を採択した。

申請団体	事業名
台東区教育委員会	台東リバーサイドスポーツセンター ライトアップ

(オ) ナイトライフ観光振興助成 <東京都出資金事業>

観光関連団体等が行うナイトライフイベント、PR 等の事業を採択した。

	申請団体	事業名
1	豊島区	豊島区ナイトライフ観光支援事業
2	日本土地建物(株) (一社)日本和楽器普及協会	京橋エドグラン 京橋 night ライブクロッシング
3	(株)NIGHT MARKET JAPAN 東京急行電鉄(株)	渋谷×ナイトマーケット×匠の技術 ～今、ここにしかない「感動の場」を提供～
4	(特非) 大丸有エリアマネジメント協会	Marunouchi Night Fes.
5	(株)indi (株)レプロエンタテインメント	NINJA live illusion night
6	小田急電鉄(株) (一社)新宿副都心エリア環境改善委員会	ALL NIGHT!! Screen @ Shinjuku Central Park
7	(株)THINK GREEN PRODUCE (株)CLEAN&ART	2020 SHIBUYA NIGHT CLUTURE EVENT
8	(一社)二子玉川エリアマネジメント	二子玉川 水辺ナイトライトアップ in2020

(4) 東京フィルムコミッション「東京ロケーションボックス」 <東京都受託事業>

都内における映画、ドラマ等撮影に係る各種の相談窓口として、「東京ロケーションボックス」を運営した。制作会社等に対し、ロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続きの指導・助言などの支援を実施し、年間の問い合わせ件数は 3,557 件で、うち支援件数は 1,216 件だった。

また、支援作品を通じた東京の魅力や地域の PR 活動を実施したほか、海外映画見本市等にブース出展することでロケ地としての東京の魅力を広く PR した。

(7) 対応実績 ※ ( ) は海外 (内数)

	映画		テレビ番組			Web 映像	スチ ール	ミ ュ ジ ッ ク ビ デ オ	そ の 他 の ジ ャ ン ル	撮 影 以 外	合 計	
	劇 場 映 画	そ の 他 映 画	T V ド ラ マ	そ の 他 T V 番 組	C M							
問 合 件 数	485 (122)	74 (15)	502 (103)	503 (78)	276 (27)	166 (16)	151 (11)	120 (4)	145 (16)	1135 (4)	3,557(396)	
支 援 件 数	399 (112)	48 (14)	398 (101)	148 (61)	87 (25)	32 (13)	39 (7)	25 (0)	40 (8)	0 (0)	1,216(341)	
許 可 件 数	都 立	22 (13)	0(0)	7 (4)	10 (9)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	44(29)
	そ の 他	38 (14)	9 (7)	50 (25)	18 (11)	13 (12)	3 (2)	6 (5)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	140(78)
	計	60 (27)	9 (7)	57 (29)	28 (20)	15 (12)	4 (3)	6 (5)	1 (1)	4 (3)	0 (0)	184(107)

(4) PR 事業

① 海外映画祭見本市等への出展、PR 実績

A) カンヌ国際映画祭併設国際見本市

令和元年 5 月 14 日～5 月 23 日

出展会場：パレ・ド・カンヌ

B) TIFFCOM/Japan Contents Showcase 2019

令和元年 10 月 22 日～10 月 24 日

出展会場：池袋サンシャインシティ

C) American Film Market

令和元年 11 月 9 日～11 月 12 日

出展会場：サンタモニカ・ロウズホテル

D) 香港フィルマート ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、出展中止

令和 2 年 3 月 25 日～3 月 28 日

出展会場：香港コンベンション&エキシビション・センターホール 1

② 支援作品を活用したイベント展の開催実績

A) 「東京シネマ諸島～島と映画の特別物産展」

開催期間 令和元年 6 月 24 日～6 月 26 日

開催場所 東京シティアイ パフォーマンスゾーン

(千代田区丸の内 2-7-2 KITTE 地下 1 階)

B) JFC (ジャパンフィルムコミッション) 第 10 周年記念総会及び東京ロケーションボックス  
スホストシティイベント

開催期間 令和元年 10 月 9 日

開催場所 東京国際フォーラム・ホール D5 (東京都千代田区丸の内 3-5-1)

東京会館 (レセプションのみ) (東京都千代田区丸の内 3-2-1)

(5) 東京シティガイド検定の実施

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材の育成を目的として、「東京シティガイド検定」を実施した。

(ア) 第 17 回東京シティガイド検定試験

実施日 令和元年 12 月 8 日

会場 実践女子大学 渋谷キャンパス

受験者数 1,079 名 (実受験者数 983 名)

合格者数 797 名

合格率 81.1%

(イ) 試験対策セミナー

第 1 回 令和元年 11 月 10 日

会場 実践女子大学 渋谷キャンパス

参加人数 135 名

第 2 回 令和元年 11 月 17 日

会場 大正大学 巣鴨キャンパス

参加人数 130 名

(ウ) 検定委員会

- 第1回 令和元年 6月 25日
- 第2回 令和元年 10月 10日
- 第3回 令和 2年 3月 19日（書面開催）

(6) 被災地応援ツアーの実施 <東京都出資金事業>

東日本大震災等により大きな被害を受けた福島県の観光振興と地域経済の復興を支援するため、旅行事業者と連携して「被災地応援ツアー」を実施した。また、震災により大幅に減少した福島県の教育旅行復興に向け、福島県が実施する事業と連携し、都内の学校が実施する福島県への教育旅行に対して、バス料金に対する経費の一部補助を実施した。

(ア) 宿泊・日帰り旅行支援

- ・事業概要：旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、宿泊旅行1泊3,000円、日帰り旅行1人1,500円の割引を行った。
- ・実施期間：平成31年4月1日～令和2年4月2日
- ・実績：宿泊旅行15,978泊、日帰り旅行2,283人
- ・旅行会社数：163社（東京都内の旅行会社）

(イ) 福島県教育旅行復興支援

- ・事業概要：都内の学校が実施する福島県への宿泊を伴う教育旅行に対し、5万円の範囲内でバスに要する経費の1/2を支援した。
- ・実施期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日
- ・実績：60件

(7) 東京都ふっこう割 <東京都補助金事業>

令和元年台風第15号及び第19号により落ち込んだ旅行需要を早期に回復及び喚起することを目的として、国内外の旅行者を対象に旅行商品や宿泊の割引を行う「東京都ふっこう割」を実施した。

- ・割引額：1人1泊あたり（6,000円以上の宿泊及び宿泊を伴う旅行）5,000円
- ・実施期間：令和元年12月24日以降に始まり令和2年2月29日までに完了する旅行
- ・実績：区部1,962泊、多摩地域4,327泊、島しょ地域2,081泊

(8) 免税店支援情報発信事業 <東京都補助金事業>

都内免税店を増やすため、ポータルHPを作成・公開し、免税店向けの補助金・セミナー情報の集約、免税店情報の発信等を実施した。また免税店相談窓口を設置し、免税店のトータル支援を実施した。

(9) 受入環境インフラの整備 <東京都出資金事業>

(ア) 観光インフラ整備支援事業

① 区市町村観光インフラ整備支援

- ・事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、区市町村が計画的に行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額 1億円（1区市町村当たり）

② 観光施設の国際化支援

- ・事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、民間観光施設が実施する外国人旅行者向けの受入環境整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額 1,000万円（1施設当たり）

(イ) 観光バス等バリアフリー化支援事業

① 観光バスのバリアフリー化支援

- ・事業概要 高齢者や障害者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめるよう、主要な交通インフラである観光バスについて、乗降用リフト付車両の導入に対して経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費について、1,000万円を限度（1台当たり）

② 観光バス乗降場等のバリアフリー化支援

- ・事業概要 高齢者や障害者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめる環境を整備するため、区市町村等が実施するリフト付観光バスの乗降場等の造成などの取組に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の3分の2以内
- ・補助限度額 3,000万円（1区市町村当たり）

(ウ) アクセシブル・ツーリズムの推進

- ・事業概要 障害者や高齢者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめる環境を整備するため、民間事業者が実施する従業員向け接客スキルの向上に関する取組に対して経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額 150万円（1事業者当たり）

(エ) 宿泊施設のバリアフリー化支援事業

- ・事業概要 旅行者が安全かつ安心して利用できるよう、民間宿泊施設が実施するバリアフリー化に関する取組に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の最大10分の9以内
- ・補助限度額 コンサルティング 2/3 ・ 34万円  
バリアフリー化整備事業(施設整備) 4/5 ・ 3,000万円  
バリアフリー化整備事業(客室整備) ※4/5 ・ 4,200万円  
(9/10 ・ 4,800万円※※)  
バリアフリー化整備事業(備品購入) 4/5 ・ 320万円  
※バリアフリー化整備事業（客室整備）とは、「建築物バリアフリー条例に定める一般客室」又は「車いす使用者用客室」を目指す整備とする。  
※※バリアフリー化整備事業（客室整備）において、以下の条件を満たす改修等を行う場合  
①建築物バリアフリー条例に定める一般客室の整備等で浴室等の出入口幅を75cm以上とする場合  
②「車いす使用者用客室」の整備等で、客室出入口の有効幅を90cm以上とする場合

(オ) 宿泊施設における安全・安心向上事業

- ・事業概要 宿泊施設に滞在する旅行者の安全・安心を確保するため、民間宿泊施設が実施する防犯カメラ等設備の導入に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額 90万円（1施設当たり最大2か所）

(カ) 観光経営・インバウンド対応力強化事業

① 観光経営力強化事業

- ・事業概要 東京都内中小企業の観光関連事業者が、アドバイザーの派遣を受けて実施する、生産性向上に要するICT・設備導入や新たなサービス・商品づくり、集客・販路開拓などの取組に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額 1,500万円（1事業者当たり）

## ② インバウンド対応力強化事業

### A) 外国人旅行者の受入対応の強化

- ・事業概要 外国人旅行者ニーズに対応した利便性や快適性を向上させるため、宿泊施設、飲食店、小売店（免税店）等が新たに実施する受入対応強化の取組に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額 300万円（1施設当たり）

### B) 無線LAN環境の整備

- ・事業概要 外国人旅行者の受入環境の整備を促進するため、宿泊施設、飲食店、小売店（免税店）が実施する無線LAN環境の整備に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の2分の1以内（1か所当たり1万5千円以内）
- ・補助限度額 宿泊施設 75万円（1施設当たり最大50か所）  
飲食店・小売店（免税店）15万円（1施設当たり最大10か所）

### (キ) 東京ひとり歩きサイン計画

- ・事業概要 区市町村が行う多言語で表記した観光案内標識の整備、及び既存標識の更新に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 新規設置 原則として補助対象経費の2分の1以内  
盤面更新 補助対象経費の3分の2以内

### (ク) デジタルサイネージを活用した観光情報ネットワーク事業

- ・事業概要 外国人旅行者の利便性向上を目的に、街なかで観光情報などを多言語で提供する高機能型観光案内標識（デジタルサイネージ）の運用管理を行った。
- ・新規設置箇所 15か所（銀座・新橋エリア 3か所、新宿・大久保エリア 2か所、浅草エリア 2か所、渋谷エリア 2か所、秋葉原エリア 2か所、臨海副都心エリア 1か所、原宿・表参道エリア 3か所）  
※上記15か所新規設置により、40基の設置目標を達成
- ・提供情報 観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATMなど（各施設までの道順を表示）  
Lアラート（災害時情報発信システム）の運用等
- ・対応言語 日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語

### (ケ) 外国人旅行者に対するWi-Fi利用環境整備事業

- ・事業概要 外国人旅行者への情報提供機能の向上を図るため、観光インフラ重点整備エリア内の区道において、観光案内標識周辺へのWi-Fi整備に対して経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の3分の2以内

### (コ) タクシー事業者向け多言語対応端末導入補助事業

- ・事業概要 タクシーを利用する外国人旅行者の利便性の向上を図るため、タクシー事業者の多言語対応等に活用できるタブレット端末の導入に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額 補助対象車両の数に5万円を乗じた額

## 4 観光情報の発信に関する事業

### (1) 東京ブランドの発信・推進事業 <東京都受託・負担金事業・補助金事業>

「旅行地としての東京」を強く印象づける「東京ブランド」を確立していくため、アイコンやロゴを活用し、主に都民や訪都外国人に向けたPRイベント等の実施を通じて、ブランドの浸透や旅行者受入の機運醸成を図った。

(ア) 東京の魅力発信プロジェクト <東京都負担金事業>

民間事業者や業界団体等からの連携事業の提案を受け、東京ブランドアイコンの普及・浸透に特に効果的な8提案に対し、都と提案者が共同で費用を支出し、連携して事業を実施した。

(イ) 東京ブランドの発信 <東京都補助金事業>

東京ブランドを国内外に向けてPRしていくため、ブランド管理体制を整備するとともに、東京ブランドWEBサイトを運営し、情報発信及びブランドの浸透を図った。

(ウ) ブランドPR イベント及び広告展開等の実施 <東京都受託事業>

「World Broadcaster Meeting」及び「World Press Briefing」にブースを出展した他、ラグビーワールドカップ2019™大会期間中に各国メディア向けの観光情報等提供デスクを設置した。また渋谷でのPRキャンペーン及び羽田空港や銀座、新宿等都内主要観光地における交通広告等も実施した。

(エ) 東京おみやげプロジェクトの展開 <東京都受託事業>

民間事業者と共同して、東京を訪れた旅行者を対象に、アイコンを活用した「東京おみやげ」を開発した。また、開発した商品を販売するショップを羽田空港国際線ターミナル内に開設した。

(2) ウェブサイトによる情報発信 <東京都補助金事業>

東京の観光公式サイト「GO TOKYO」において、東京の総合的な観光情報を9言語・10種類で継続的に発信した。また、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数* (平成31年4月～令和2年3月)
総合TOP	128,593
日本語	8,012,222
英語	10,249,490
中国語(簡体字)	934,437
中国語(繁体字)	3,484,998
韓国語	998,981
ドイツ語	307,354
イタリア語	286,944
スペイン語	340,450
フランス語	386,048
タイ語	4,612,158
その他**	10,064
合計	29,751,739

\*アクセス数はページビューでカウント

\*\*「その他」は、アクセス解析ソフトにより言語の区別がつかなかったページビューである。

(3) SNSによる情報発信 <東京都補助金事業>

コミュニケーションツールや広報宣伝媒体としてその有用性が高く評価されているSNSを利用した広報宣伝活動を運営しており、Facebook、Weibo等において、東京都内各地の旬の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数* (令和2年3月末)
Facebook	日本語	7,177
	英語	316,423
	中国語(繁体字)	199,501
	韓国語	18,811
	ドイツ語	7,848
	イタリア語	26,847
	スペイン語	39,557
	フランス語	23,890

	タイ語	82,706
	インドネシア語	167,492
	ベトナム語	36,013
Weibo	中国語（簡体字）	62,844
WeChat	中国語（簡体字）	12,527
NAVER	韓国語 ※年間閲覧数	73,146

\*読者数はアカウントのフォロワーの数

(4) ウェルカムカードの作成 <東京都補助金事業>

国内外の旅行者に東京の観光情報を提供するウェルカムカードとして、東京トラベルガイドを9言語・10種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、独語、仏語、西語、伊語及びタイ語）で作成し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口、宿泊施設等で提供した。また、広告掲載により収入を確保した。

(5) ムスリム及びベジタリアン観光客向けパンフレットの作成 <東京都補助金事業>

(ア) ムスリム観光客向けパンフレットの作成

ムスリム旅行者の受入に取り組んでいる飲食店やホテル、礼拝所を紹介したムスリム観光客向けの英語版パンフレットを作成し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口、宿泊施設等で配布した。

(イ) ベジタリアン観光客向けパンフレットの作成

ベジタリアン旅行者等の受入に取り組んでいる飲食店を紹介した英語版パンフレットを作成し、東京観光情報センター等で配布した。

(6) 東京観光情報センター等の管理運営 <東京都受託事業>

(ア) 東京観光情報センターの運営 <東京都受託事業>

国内外からの旅行者等の多様なニーズに的確に対応できるよう、都内5か所で東京観光情報センターを運営した。また令和元年9月～11月には、バスタ新宿内に障害者や高齢者の観光をサポートするアクセシブル・ツーリズム専用窓口を試行設置し、車いすとベビーカーの無料貸出も行き、より多くの旅行者が東京観光を楽しめる環境を整備した。

- ・場 所 東京都庁（都庁第一本庁舎1階）  
羽田空港（羽田空港第3ターミナル2階）  
京成上野（京成上野駅改札口前）  
バスタ新宿（バスタ新宿3階）  
多摩（エキュート立川3階）
- ・来場者数 合計 1,271,195人（うち、外国人 696,219人/54.8%）
- ・問合せ件数 合計 584,678件（うち、外国人 424,700件/72.6%）

(イ) 全国観光PRコーナーの運営 <東京都受託事業>

国内外からの旅行者等の多様なニーズに的確に対応できるよう、東京都と全国の各自治体が連携して全国の観光情報等を発信する全国観光PRコーナーを運営し、各地域の観光パンフレットの配布やPRイベントの開催、特産品の販売等を行った。

- ・場 所 東京都庁（都庁第一本庁舎1階）
- ・来場者数 合計 195,851人（うち、外国人 39,502人/20.2%）
- ・問合せ件数 合計 20,901件（うち、外国人 13,482人/64.5%）
- ・イベントコーナー実施件数 45件

(7) 広域観光案内拠点等の整備及び運営 <東京都出資金事業、受託事業>

(ア) 広域的な観光案内拠点及び東京観光案内窓口の整備及び運営支援

都内における観光案内機能の向上を図るため、外国人旅行者が多く訪れる都内 10 地域において、新たに都が指定した広域的な観光案内拠点 1 か所（累計 10 か所）と、都内全域の東京観光案内窓口 56 か所（累計 334 か所）の整備及び運営支援を行った。

また、これらの施設が国内外の旅行者に対し都内の観光情報を円滑に提供できるよう、統一したロゴマークの提供をはじめ、モニター付きコールセンター通訳サービスを利用できる端末の貸与や屋内型観光案内デジタルサイネージの設置等の支援を行った。

(イ) 広域的な観光案内拠点に対する補助金

- ・事業概要 東京都が指定した広域的な観光案内拠点を整備・運営する事業者を対象に、広域的な観光案内拠点の整備事業に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の 3 分の 2 以内
- ・補助限度額 3,000 万円

(ウ) 観光案内窓口整備支援補助金

- ・事業概要 東京都が平成 30 年度以降に指定した東京観光案内窓口を整備・運営する事業者を対象に、東京観光案内窓口として求められる機能の充実や必要な整備事業に対して、経費の補助を行った。
- ・補助額 補助対象経費の 3 分の 2 以内（区市町村は 2 分の 1 以内）
- ・補助限度額 300 万円（区市町村は 225 万円）

(8) 観光ボランティアの管理運営 <東京都受託事業>

(ア) 観光ボランティアの管理運営

観光ボランティア活動を通じて、東京を訪れる外国人旅行者に東京の魅力を紹介する東京都観光ボランティアの管理運営を行った。また、外国人旅行者が多く訪れる 10 地域のうち、六本木・赤坂エリア及び原宿・表参道・青山エリアにおいて新たに「街なか観光案内」を開始した。（活動エリアの累計 10 地域）

また、「観光ガイドサービス」について、ラグビーワールドカップ 2019™ 期間に合わせて、ナイトツアー及び障害者や高齢者等に配慮したガイドコースを試行した。

- ・登録者数：2,997 名（休止者等 917 名含む。）

<各種ボランティア活動実施結果>

- ① 街なか観光案内対応件数：新宿西口エリア 13,463 件、新宿南口エリア 21,570 件、  
上野エリア 31,567 件、浅草エリア 29,580 件、  
銀座エリア 8,530 件、臨海副都心エリア 18,914 件、  
渋谷エリア 23,143 件、  
東京駅周辺・日本橋エリア 13,289 件、  
秋葉原エリア 7,581 件、六本木・赤坂エリア 3,279 件、  
原宿・表参道・青山エリア 6,019 件

- ② 観光ガイドサービス実施件数 : 733 件

- ③ 観光ボランティア派遣 : 21 回（派遣者数：延べ 231 名）

- ④ 都庁案内ガイドサービス実施件数 : 1,163 件

- ⑤ 展望室ガイドサービス実施件数 : 10,782 件

※いずれの活動も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和 2 年 2 月 22 日以降は休止した。

(イ) おもてなし親善大使の育成 <東京都受託事業>

中高生を対象に、オリンピック・パラリンピック開催に向けた夢を育て、併せて外国人旅行者への対応方法や東京ならではの「おもてなし」の手法を学ぶ「おもてなし親善大使育成塾」を実施するとともに、おもてなし親善大使（修了生）を対象としたフォローアップ研修会を実施した。

- ・令和元年度おもてなし親善大使任命者数 98 名（累計 1,103 名）

(9) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営 <東京都受託事業>

(ア) 東京マラソン応援観光マップの作成

東京マラソンコース、応援ポイント、周辺の観光スポット、イベント情報等を盛り込んだマップのデータ作成・配布を行った。

(イ) 臨時観光案内所の設置・運営

東京マラソン EXPO 及び東京マラソン祭りの会場に臨時観光案内所を設置し東京の観光情報を広く来場者に PR する予定であったが、両イベントの中止決定により未実施となった。

(10) マラソン祭りフォトコンテストの実施

東京マラソンの開催に合わせて行われていた「マラソン祭りフォトコンテスト」は、平成 30 年度(令和元年 5 月の表彰式)をもって終了とすることを決定し、新たなテーマによる東京の魅力を発信するフォトコンテストの令和 2 年度からの実施に向け準備した。

(11) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営 <東京都受託事業>

都内飲食店等における外国人旅行客の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT 東京」を運営した。

- ・サイト登録店舗数 6,690 店舗 (令和 2 年 3 月末時点)
- ・飲食店を対象にした「EAT 東京」の普及啓発操作説明会等 参加者数 124 名

(12) 東京観光デジタルパンフレットギャラリーの管理運営

東京の様々な観光パンフレットを、国内外の旅行者がウェブ上で閲覧できるウェブサイト「東京観光デジタルパンフレットギャラリー」を 5 言語・6 種類(日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語)で管理運営した。利便性向上のためのサイトリニューアルも実施した。

(13) 東京映像素材集の管理運営

東京を代表する風景、伝統文化、祭りなどの魅力的な映像素材を集めた WEB サイト「東京映像素材集」を 2 言語(日本語、英語)で管理運営し、東京の PR を目的とする国内外の利用者に対して映像素材を提供した。

(14) TCVB 活動の広報に関する事業

インバウンド誘致やビジネスイベントの誘致促進等に係る TCVB の活動を海外に対して効果的に PR するため、日本語版及び英語版のウェブサイトを運営した。

## 5 会報発行事業

(1) 会報等の発行

(ア) 「TCVB NEWS」の発行

新たなコーナーの設置やタイムリーな情報収集に努めることで、読者の期待に応える紙面づくりを行った。

- ・回数、部数 4 回(季刊)、毎 1,000 部
- ・体裁 A4 サイズ 8 ページ、2 色
- ・主な配布先 賛助会員、マスコミ、関係機関

(イ) TCVB メール速報の配信

速報性を活かした情報提供サービスの充実を目指し、会員及び関係機関へ週 1 回配信した。

- ・配信回数 51 回

## II 収益事業

### 1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4か所（新宿、有楽町、池袋、立川）及び島しょ地域（9町村）において、東京都から受託した東京都手数料徴収業務を実施した。また、新宿郵便局長から受託した収入印紙の売りさばき業務を新宿旅券課内において行った。

収入印紙年間販売枚数 365,926 件

### 2 グッズ等の販売事業

東京観光情報センター東京都庁において、東京おみやげ等を販売した。

### 3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業

#### (1) 公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」

都内各書店、東京観光財団ホームページ、東京観光情報センター東京都庁等において、公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」を販売した。

・販売冊数：2,057 冊（前年度：2,021 冊）

#### (2) 過去問題

東京観光財団ホームページ及び東京観光情報センター東京都庁において、過去問題を販売した。

・販売部数：652 部（前年度：3,100 部）

## III その他事業

### 1 TCVB ミーティングの開催

東京の観光に関わる様々なトピックを扱う TCVB ミーティングを9回開催した。

当初は13回の開催を予定していたが、2月後半以降、東京都内における新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第10回から第13回は中止とした。

第1回： LGBT ツーリズム（開催日：令和元年5月30日、参加実績：38名）

第2回： 旅館業法改正・民泊新法から1年、旅館業の課題と未来  
（開催日：令和元年6月6日、参加実績：26名）

第3回： インフルエンサーに聞こう！アジアの若者にウケる情報発信の秘訣とは  
（開催日：令和元年7月25日、参加実績：46名）

第4回： ロケ誘致はビジネスチャンス！  
（開催日：令和元年9月12日、参加実績：35名）

第5回： パラアスリートから学ぶユニバーサルツーリズム  
（開催日：令和元年10月8日、参加実績：38名）

第6回： 観光×デジタル～デジタル化による観光産業の行方～  
（開催日：令和元年10月30日、参加実績：22名）

第7回： 都市の取組みから考えるナイトタイムエコノミー  
（開催日：令和元年12月5日、参加実績：37名）

第8回： 子供たちへの観光教育のススメ～これからの地域を担う基礎人材の育成に向けて～  
（開催日：令和元年12月9日、参加実績：28名）

第9回： 食の世界も“dine バーシティー”?!～イマこそ知りたい！ニーズとトレンド～  
（開催日：令和2年2月13日、参加実績：25名）

第10回：サイクルツーリズムが創り出す地域活性化への道 ※中止

(開催予定日：令和2年3月3日)

第11回：訪日中国人のトレンド情報源を担う“Z世代”の特徴とは ※中止

(開催予定日：令和2年3月13日)

第12回：ユニークベニュー（仮） ※中止

(開催予定日：令和2年3月18日)

第13回：「オタク市場におけるインバウンドビジネスの可能性」 ※中止

(開催予定日：令和2年3月26日)

## 2 TCVB ビジネス交流会の開催

賛助会員同士のビジネスマッチングを目的とした商談会を4回開催した。

当初は5回の開催を予定していたが、2月後半以降、東京都内における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、第5回目は中止とした。

第1回：令和元年7月25日 参加実績：32団体

第2回：令和元年9月12日 参加実績：25団体

第3回：令和元年11月25日 参加実績：41団体

第4回：令和元年12月5日 参加実績：26団体

第5回：令和2年3月13日 ※中止

## 3 賛助会員情報交換会の開催

賛助会員を対象とした賛助会員情報交換会「交流の集い」では、例年通り講演会と賛助会員同士の交流を目的とした交流会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、中止とした。

(1) 開催予定日：令和2年2月20日

(2) 参加登録者数：168名

(3) 内容

(ア) 第一部

① 【基調講演】講演テーマ：東京2020大会開催直前！今後、インバウンドのビジネスチャンスはどこにあるのか

A) 基調講演（前内閣官房内閣審議官 間宮淑夫氏）

B) 基調講演（みずほ総研の経済調査部主任エコノミスト 宮嶋貴之氏）

② 【TCVB 職員による事業説明】テーマ：TOKYO2020 決定後から現在までに実施した事業の紹介（パネルディスカッション）

(イ) 第二部：【懇親会】賛助会員展示ブースラッキードロー

## 4 企画調査事業

(1) 民間事業者等との共同研究

民間事業者等と「東京の観光施策を実施している団体としてのあり方」をテーマに、東京の観光に関する課題について調査・分析を行った。調査成果の発信の場としてカンファレンスの実施を2月末に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。

(2) 在京外国人有識者との意見交換

財団が運営するウェブサイトやSNSの運用方法等について、在京外国人識者とのグループインタビュー

ューを2回実施した。

## 5 共催・協賛

(1) 音楽祭の協賛：「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2019」

- ・日時：令和元年5月3日～6日
- ・場所：東京国際フォーラム、大手町、丸の内、有楽町
- ・主催：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2019 運営委員会

## 6 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2019</li> <li>○アマチュア無線フェスティバルハムフェア 2019</li> <li>○SCAJ ワールドスペシャルティコーヒーカンファレンスアンドエキシビション 2019</li> <li>○第50回文京つつじまつり</li> <li>○第18回新宿エイサーまつり</li> <li>○FASAVA-TOKYO 2019</li> <li>○第35回文京あじさいまつり</li> <li>○International Convention on QC Circles 2019-Tokyo</li> <li>○第34回文京朝顔・ほおずき市</li> <li>○第41回文京菊まつり</li> <li>○第63回文京梅まつり</li> <li>○第58回文京区観光写真コンクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第18回ドリーム夜さ来い祭り</li> <li>○ラーメン Show in Tokyo 2019</li> <li>○東京国際プロジェクトマッピングアワード vol.4</li> <li>○東京マラソン 2020</li> <li>○SAKURA COLLECTION 2019-2020</li> <li>○J-CULTURE FEST/にっぽん・和心・初詣 2020</li> <li>○東京ミチテラス 2019</li> <li>○Tokyo Shopping Week 2020 at Harajuku Omotesando &amp; Takeshita St.</li> <li>○第33回新宿御苑森の薪能</li> <li>○町田時代祭り 2019</li> <li>○秋川 "四季の奏で" 音楽会 秋川クリーンアップ活動（秋川の清掃活動）</li> </ul>
--	--

## 7 委員会への参加

財団役員等が観光関連団体等への委員等に就任し、活動に参画した。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○技能五輪・アビリンピック 2021 推進協議会</li> <li>○観光立国推進協議会</li> <li>○日本観光振興協会</li> <li>○日本観光振興協会関東支部評議員会・関東甲信越静岡観光協会・連盟協議会</li> <li>○一般社団法人日本経営協会</li> <li>○東京外かく環状道路（関越道～湾岸線）整備促進連絡会議</li> <li>○ヘブンアーティスト運営実行委員会</li> <li>○公益財団法人東京都公園協会評議員会</li> <li>○一般社団法人墨田区観光協会理事会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央区観光検定委員会</li> <li>○外国人対応支援マニュアル企画作成活用委員会</li> <li>○一般財団法人東京マラソン財団理事会</li> <li>○一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー理事会</li> <li>○文京区アカデミー推進協議会</li> <li>○多摩観光推進協議会幹事会</li> <li>○公益財団法人東京都中央企業振興公社理事会</li> <li>○2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会</li> <li>○大都市観光協会連絡協議会</li> </ul>
--	---

以上